

平成25年度 事業計画

川崎港内における船舶の航行安全、公衆衛生及び環境保全の向上に寄与するため、次の事業を実施する。

1 海面の清掃

川崎市から委託された海面清掃船「つばき」及び「第一清港丸」の2隻体制で、平日の午前午後の各一回、川崎港内の16運河と多摩川、及び東扇島の防波堤内と東公園沖を巡回すると共に、川崎市や海上保安本部、会員企業などからの通報にも対処し、じん芥や流木等の収集を行う。

2 流出油の事故処理

「川崎管内排出油等防除協議会」に参加し、協議会や川崎市の出動要請に対応する。

このため、海面清掃船「つばき」に油回収装置を搭載して稼働させる訓練を行い、即応態勢を整える。

3 環境保全の啓発

(1) 「海を守る月間」

7月に行われる「東京湾クリーンアップ大作戦」推進会に参加する。

(2) 「清港会独自キャンペーン」

8月に当会の独自キャンペーンとして、「きれいな海を未来の子どもたちへ」を合言葉に、ポスターの作成・掲出や、海面清掃船へのスローガン掲出を行う。

(3) 「かわさき港まつり」参加

川崎清港会のブースを設け、清港会の活動状況の紹介や、リサイクル紙製品の動物クラフト造りを行う「キッズ工作教室」を開催する。

(4) 事業活動見学会

川崎市や「川崎みなとガイド協会」等が行う川崎港見学の一環として、当会の海面清掃船の活動状況や、収集したじん芥・流木の状況説明を行い、環境保全の保護を訴える。

(5) 各種調査への協力

当会が蓄積しているじん芥収集データを、官公署や各種団体の要請に基づき提供する。

(6) 公益社団法人移行の記念事業

川崎市内の保育園等に、清掃船の活躍を描いた絵本300冊を贈呈する。

4 その他

東扇島に進出を予定している企業を中心に、新規会員の獲得に努める。